

令和2年度 自己評価及び学校関係者評価書

学校関係者評価へのご協力ありがとうございました。
皆様から頂いた貴重なご意見を参考にさせていただき、これからの教育活動をより充実させてまいります。

令和3年2月

八雲町立野田生小学校

1. 本年度の重点目標
思いやりの心を持ち、自信をもって、粘り強く、学び続ける子の育成
2. 本年度の取組の重点
「思いやり」「自信」「チャレンジ」「向上心」
3. 自己評価に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価 主な意見 (改善策など)
①【知】確かな学力を育む教育の推進	「主體的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が図られているか。	b	コロナ禍により、研修会への参加が十分にできなかったが、今後も校内での資料提供や日常の交流により、工夫・改善を進める。	A	A 改善の方向性通り、研修の充実による教職員の資質向上に期待する。
	教育活動に必要な人的・物的資源が有効に活用され、教科横断的な視点で教育活動が進められているか。	c	どのような場面で、どのように活用を図っていくかというイメージの共有が必要。「総合」を中心に教育計画の再編を行う。	B	A 協力できるところは、どんどん協力したいと思っている。遠慮なく申し出てほしい。
②【徳】豊かな心を育む教育の推進	道徳の時間や道徳教育をとおして、自己理解を深め、道徳的価値を実践しようとする意欲や判断力、心情などを培うことができたか。	a	主に道徳の授業実践を通して、自らの行動を振り返ったり深く考えたりする場面を設定することができた。	A	A 道徳の時間の参観をすることができた。話し合いをしながら考えを深めさせようとする工夫の様子が見られた。これからは授業の充実を図ってほしい。
	機能的・組織的にいじめの未然防止、早期発見に向けた取り組みが進められているか。	a	「いじめ防止基本方針」の不断の見直しと、アンケートや教育相談の計画的実施により、情報の共有と組織的対応に努める。	A	A いじめ防止に関して、保護者・地域としてできることは協力していきたい。
③【体】心身ともに健康を増進する教育の推進	食事や睡眠などの生活習慣を整え、運動の機会を持たせるなど、心身ともに健康な児童の育成が進められているか。	a	生活カードにより、児童の健康や睡眠の状況をとらえ、特設授業や個別時指導で、よりよい生活習慣の定着を推進することができた。	A	A 学校・家庭・地域が連携しながら、子供たちの健康で安全な成長のために力を合わせたい。
	新型コロナウイルス感染症への対応が適切に行われるなど、児童の安全・安心な学校生活に向けた危機管理体制は整っているか。	a	社会状況や地域の実情に応じ、常に「危機管理マニュアル」を見直すなど、体制の維持・改善と地域への周知・啓発に努める。	A	A 新年度においても、新型コロナウイルス感染症対策を徹底してほしい。
④【教職員】学校における指導体制の充実	校内外でのICT、外国語、特別支援教育などの研修機会が、日常の指導や支援に生かされているか。	c	研修会への参加やリモート、参加者からの還元交流などをさらに進め、今日的な課題の解決を図る教員の資質向上を推進する。	C	A 先生自身の勉強が、子供たちへの指導に生かされるよう努力してほしい。
	校務分掌が機能し、学校における働き方改革が推進されるなど、働きがいのある職場の雰囲気がつくられているか。	b	先生方の個別目標が達成されるよう、会議の精選や業務改善を図るなどとして、活力ある雰囲気の醸成に努める。	C	A 子供たちのためにも、先生方が明るく元気なのは大切だと思う。
⑤【家庭・地域】連携・協働した教育活動の充実	PTAや地域、町会、近隣校、関係機関などとの連携が図られ、小中一貫教育が推進されているか。	d	できるところから確実にコミュニティ・スクールの活用を図る。小中一貫教育についても、できるところから実践していくとともに内容を整理し、その全体像を分かりやすく提示する。	D	A 中学校区の子供たちの教育活動をより充実させるために、保護者、地域として積極的に協力していきたい。小中一貫教育の取組は続けて頑張ってほしい。
	学校だよりやホームページなどによる保護者や地域住民への情報提供が、積極的に行われているか。	a	本校の目指す子ども像を発信し、理解を得ることによって、授業や行事への協力など、地域との協働をさらに進める。	A	A 楽しく見ている。今後も学校の様子を伝えてほしい。

◎評価の基準

■自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた	(8割以上)
b	概ね達成できた	(6割以上)
c	十分ではない	(4割以上)
d	達成できなかった	(4割未満)

■自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さに係る評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切ではあるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。